

岡山大学

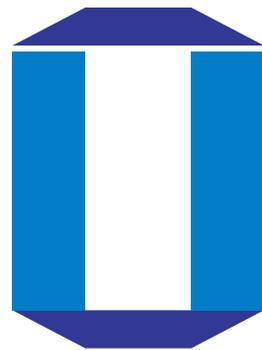
教育学部

OKAYAMA UNIVERSITY
SCHOOL OF EDUCATION

● 学校教育教員養成課程

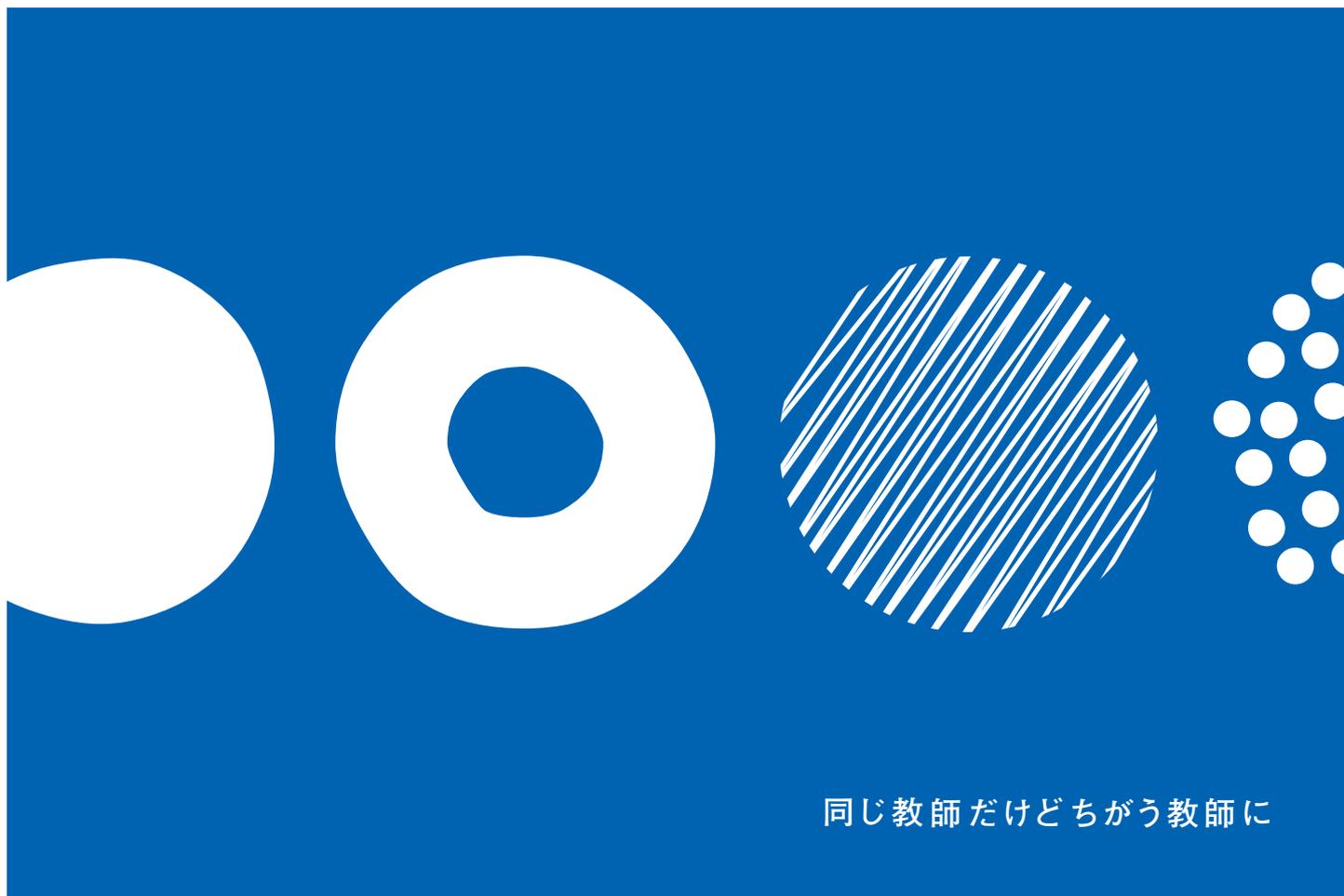
- ・ 小学校教育専攻
- ・ 中学校教育専攻
- ・ 特別支援教育専攻
- ・ 幼児教育専攻

● 養護教諭養成課程



OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く



同じ教師だけどちがう教師に

在校生の声

岡山大学教育学部で学ぶ、学生たちの声をお届けします。

VOICE.01

竹之内萌未さん 養護教諭・4年次

私は、保健室に来室した際に温かく迎え入れてくれる養護教諭に憧れをもち、養護教諭になりたいと考えようになりました。そんな私が岡山大学を志望した理由のひとつが、教育的な視点から養護教諭について学べるということです。学校の先生が教科を教えるように、養護教諭にも児童生徒が健康に生きるための知識や実践力を教える大切な役割があります。養護教諭は怪我や体調不良者への対応という看護的な一面をもちつつ、児童生徒が健康に生きていけるような支援・指導という教育的な一面をもっています。1年次には他の教員を目指す方たちと主に教職について学び、2年次には学校看護学などの授業で、養護教諭に必要な専門的な知識や技術を学びます。私自身2年間の授業や実習を通して、今まで知らなかった養護教諭の仕事や役割を知ることができました。また、実際に働いておられる養護教諭の方の話を聞く機会を経て、養護教諭の魅力を一層知ることができました。これから3、4年生の病院実習や養護実習で学んだことを実践し、実践力を高めたいと思います。岡山大学では、30人の仲間たち、先輩や後輩、経験豊富な先生方と、将来に向けて楽しく学ぶことができます。ぜひ一緒に学びませんか。



養護教諭

VOICE.02

森原茉永さん 特別支援教育・4年次

私は、弟のために訪問教育に来てくださっていた特別支援学校の先生が、弟本人だけでなく、私や両親にも寄り添ってくれていたことや、授業を重ねるにつれて弟の表情がどんどん豊かになったことから、教師への憧れを抱くとともに、特別支援教育について興味をもつようになりました。そして、私にそのような経験をもたらしてくれた地元である岡山に恩返しをしたいという思いもあり、岡山大学教育学部の特別支援教育専攻を選びました。

2年次で附属特別支援学校での1週間の観察実習があったり、3年次では附属特別支援学校での3週間の主免実習に加えて、附属小学校または中学校での4週間の基礎実習があったりするため、学校現場の雰囲気を肌で感じることができる機会が多く設けられていることが、特別支援教育専攻の魅力です。また、講義では、教育や障害に関する基礎的な知識を学ぶことができるのはもちろん、特別支援学校での実際の授業映像を観ることで、子どもの実態や特性に応じた支援について考える力を身につけることができます。

私は、特別支援学校だけでなく、小学校での実習でも、特別支援教育の視点から見ると新しい考えが生まれてくるという場面に直面し、特別支援教育について学ぶことの重要性を実感したことから、この専攻を選んで良かったと心から感じました。皆さんも岡山大学と一緒に学びませんか？



特別支援教育

VOICE.03

小畑楓奈さん 幼児教育・4年次

私が岡山大学を選んだのは、保育士資格と幼稚園教諭免許の両方が取得でき、入部したいと思っていた体操部があるという条件で大学を調べているうちに、岡山大学の幼児教育専攻で学びたいと強く思うようになったのがきっかけです。

幼児教育専攻の一番よいところは、少人数で、同学年はもちろん、先生方や先輩、後輩との繋がりが強いという点だと思います。先生方はとても優しく、親しみやすいです。幼児教育で重要な「信頼関係」がしっかりと築かれているため、先生方のおかげで、安心した気持ちで学びに向かうことができます。また、先輩と一緒に模擬保育をしたり、実習の話を先輩からお聞きしたりと、学年を超えた交流がたくさんあることもとてもよいと感じています。中でも幼児教育講座には学外合宿研修があり、学生全員と先生方とで施設に宿泊し、1～4年生の縦割り班で劇を作って発表したり、運動会をしたりして、親睦を深めています。私は昨年からの合宿の運営に携わり、次の合宿に向けて準備をしています。それ以外にも私は、休日には高校生の頃から続けている子どもたちのキャンプの企画運営をするボランティアもしていて、忙しいながらも充実した大学生活を送っています。私は、この4年間で保育者になるために必要な保育士資格と幼稚園教諭免許状を取得し、他にも副免許の取得も目指しています。将来は、自然とたくさん触れ合いながら子どもたちと一緒に成長していただける先生になりたいと思っています。充実した日々を過ごせるこの岡山大学教育学部幼児教育専攻で、一緒に学びませんか。



幼児教育

VOICE.04

藤田実紗さん 小学校教育・3年次

教師という職業には幼いころから漠然と憧れがありました。私の中で「先生」は何でもできる万能人だったからです。そんな姿に憧れて教師を目指した私ですが、ふと、目指す先はそれでよいのだろうかと大学の授業を受ける中で思うようになりました。教師は何でもできるように子どもたちの前では振舞うけれど、実は裏でたくさん苦悩し葛藤していて、その過程でいかに踏ん張れるか、周りの人と協力できるか。求められているのはそういう力なのだと思います。

私は小学校教員になるという夢に向かって、岡山大学教育学部の新カリキュラムに沿って学んでいます。このカリキュラムでは、1年生から関心事によってクラス分けが行われます。私は学級経営をはじめ幅広く教育学に関心があり、教育学、教育心理学を中核とする教育基盤推進クラスで学んでいます。他にも、教科教育を核とする学校教育開発クラス、ESD・SDGs教育を核とする先端教育開発クラスがあります。多くの講義がこのクラスごとに行われるので、小中高時代のようなクラス間での交流が興味関心の合う友人がしやすいのが特徴だと思います。教育学部を考えている皆さんは、将来何らかの形で教育に関わりたいと考えられていると思います。今の私ができるアドバイスは、学生時代を思う存分楽しんでほしいということです。経験だけで教育を語ることはできないけれど、皆さんがどんな経験をしてきたかは教育を考えるうえで必ず生きてきます。岡山大学で皆さんと教育を創っていただける日が来ることを楽しみにしています。



小学校教育

VOICE.05

中谷紗也さん 中学校教育(国語教育)・3年次

岡山大学の教育学部に入学しようと思ったのは、実習が2年生からあるため、早くから経験を積めると思ったからです。また、中学校専攻では最初から教科が分かれているため、私が好きな国語に絞って勉強することができると感じました。

岡大教育の特徴は、授業中に同じ学部、学科の人たちとディスカッションをしながら自分の学びを深められるところだと思います。また、先生とのコミュニケーションをしっかりと取れるところが魅力だと感じています。私自身、自分の不安な部分や悩みを先生に聞いてもらって、すぐ助けられました！

私は今、国語科で教材の研究をしながら、自分の考えていることを言語化する力を身につけることを頑張っています。一つ一つの教材や国語の面白さを自分なりに伝えることで、子供が自分の言語能力を高めながら、国語というものに興味を持ってもらえるような授業を作りたいと考えています。岡山大学の教育学部では、自分のやりたい教育が見つかるし、教育に関する基礎をしっかりと教えていただけます。また、他の学科の人との交流もあり、たくさんの新しい考え方に会うこともできます。もし困ったり不安に思った時は必ず仲間が助けてくれるので、安心して岡山大学で新しいステップを踏み出して欲しいです！



中学校教育



養

護教諭

三井小波さん R4年度卒業 広島県立尾道特別支援学校(養護教諭)

特別支援学校で勤務して2年になります。個性豊かで元気いっぱいの子どもたちと過ごす毎日は、笑顔が絶えません。岡山大学で過ごした4年間は、かけがえのない時間でした。教育実習や学校ボランティアでは、多くの素敵な養護教諭に出会いました。仕事で上手くいかなかったり悩んだりした時は、「あの先生ならどうするだろう」と考えて行動しています。先輩方の存在が、今でも私の背中を押してくれていると感じます。また、在学中に出会った友人は、仕事から趣味のことまで何でも話せる大切な存在です。同じ夢を持つ仲間とともに学ぶ、という貴重な経験ができて良かったと思っています。働き始めて、養護教諭ひとりでは何もできないことを実感しています。それと同時に、担任の先生方をはじめ、様々な方と子どものために何ができるかを考え、真っ直ぐ行動できることにやりがいを感じています。みなさんが新たな出会いにあふれた岡山大学で学び、多くの視点や学びを得られることを願っています。

VOICE.02



支

援学校教諭

森本愛梨さん R5年度卒業 岡山県立東備支援学校(教諭)

特別支援学校の教員となり、一年が経とうとしています。子どもたちがより成長していくための手立てや関わりをしたいという夢をもって始まった教員生活ですが、日々ぐんぐん成長する子どもたちに、いつも刺激と元気をもらっています。毎日過ごす中で、「この行動の背景は何か」「どうすればより伝わるか」という疑問や悩みがいくつも出てきます。自分一人では考え付かないことも、周囲の先生方や子どもたち、大学時代の仲間や友人にたくさん助けられていたおかげで、人とのつながりの大切さを強く実感しています。大学では、特別支援教育について話し合える仲間や先生方により多く出会えます。それは一過性の関係だけではなく、とても大切な財産なんだと卒業してからより感じました。話すことは大学で学んだ知識だけでなく、将来のことでも、その日のご飯のことでも、何でもいいと思います。日々の積み重ねから築いた関係が将来の心強い味方となり、子どもたちと関わることにしても大きなスキルになると思います。これから教員を志していく皆様。岡山大学は様々な価値観をもったおもしろい人がたくさんいます。様々な出会いの中で、大学生活が楽しく素敵なものとなるよう、心から願っています。

VOICE.03



幼

稚園教諭

永田 想さん R5年度卒業 総社市立山手幼稚園(教諭)

憧れていた幼稚園教諭となり、1年が経とうとしています。4歳児の担任として、日々悩みや不安を抱えることもありますが、毎日子どもたちと一緒に楽しく、刺激のある生活を送っています。子どもたちが「楽しい」「面白い」「不思議」と心を動かしながら遊び込むことができるよう、子どもに寄り添い、感情を共有することを大切にしながら、保育に取り組んでいます。日々変化する子どもの姿に悩み、壁にぶつかることもありますが、同時に驚きや喜び、やりがいを感じながら、子どもたちの成長に携われていることをうれしく思います。在学中には、幼児教育についての専門的な知識に加えて、実践力を培うことができました。大学生活で培われた、学ぶ姿勢や向上心は現在も大切にしています。また、大学での先生方や友人との出会いは、私にとって貴重なものでした。同じ夢をもった仲間と共に学び、共に夢に向かって奮闘する日々は、自分自身を成長させ、その存在は、今でも大切な心の支えとなっています。皆さんも、岡山大学で様々な、人との出会いや経験を重ね、充実した大学生活を送られることを願っています。

VOICE.04



小

学校教諭

周藤江美さん R4年度卒業 松江市立大庭小学校(教諭)

小学校の教員となり、2年が経ちました。採用後すぐに担任となり怒涛の日々を過ごしましたが、その中で得られるものは多く、子ども達と一緒に働く先生方に助けられながら毎日楽しく働くことができています。私は現在1年生の担任をしており、無邪気な素直な可愛らしい姿や、出来ることがどんどん増えていく姿に毎日元気を貰っています。そんな1年生を可愛がり、たくさん助けてくれる6年生の思いやり溢れる頼もしい姿にはいつも驚かされます。6年間の成長の早さを実感し、この貴重な期間に携われることに改めて幸せを感じています。在学中の講義や実習での学びは、教師として働く自分自身の土台となっています。また、一緒に努力した仲間や、素敵な先生方とすごした日々は私にとってかけがえのない財産であり、卒業した今でも心の支えとなっています。これから教員を目指すみなさんが岡山大学で素敵な出会いと経験を積み、将来たくさんのお可愛い笑顔に囲まれることを願っています。

VOICE.05



中

学校教諭

大村陸人さん R3年度卒業 岡山市立富山中学校(教諭)

私は、岡山大学教育学部で4年間、そして岡山大学教職大学院で2年間、計6年間岡山大学で過ごしました。卒業して1年目、中学校1年生の担任をしています。毎日押し寄せてくる業務の中で、少しでも良い授業ができればという思いで授業を作っています。そうやって作った授業でも、全然うまくいかないときもあり、悔しさと生徒への申し訳なさが溢れてくるときがあります。そんな苦しいとき、岡山大学で学んだ経験が自分を支えてくれていると感じています。大学入試の際に、高校の先生に「大学にはいるとは、努力の対価として、大学名が書かれた見えないコートを着るということだ」と言われました。少しでも良い名前が入ったコートを着るために岡山大学へ入ったのですが、6年間を過ごした今、自分はコートよりも良いものをもらったなと思います。それが「目」です。私は、自分の授業づくりに困ったとき、生徒が授業の中でつまずくとき、岡山大学で育ててもらった「研究の目」を通してものを見ることができるようになりました。私の「目」を育ててくださったのは、岡山大学で熱心に研究に取り組まれている先生方とそこで出会った最高の友人たちです。そんな先生方や友人たちとの出会いは私の人生の大きな財産となっています。みなさんも岡山大学で人生の宝物を見つけていただけたらと思います。応援しております。

学部紹介

岡山大学教育学部は、学校教育教員養成課程と養護教諭養成課程の2つの課程で構成されています。

教員を目指すなら

学校教育教員養成課程

学校等の教員を養成する課程です。「小学校教育専攻」「中学校教育専攻」「特別支援教育専攻」「幼児教育専攻」のいずれかに所属して、専門的知識と指導方法を学びます。

また、学校での児童・生徒の実態を理解し、指導方法や実践力を身につけるため、附属学校・園で教育実習を行います。最初の2年間は観察・参加型の実習を、3年次2・3学期で教壇に立つ実習を行います。4年次にも副免許用の教育実習や、公立学校で実践的経験を積む「教職実践インターンシップ」を用意しています。

卒業時には、所属に応じて小学校教諭、中学校教諭(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)、特別支援学校教諭、幼稚園教諭の教員免許状や保育士の資格などが取得できます。

01 小学校教育専攻 (17プログラム(地域教育*を含む))

小学校教員を目指す学生が所属します。小学校教員は、児童の教育や学習過程に関する理解の他に、10教科をすべて教える能力が求められます。そのために、教育理論や指導法、各教科の専門的な内容を学ぶための授業が開講されています。さらに、自信をもって複数科目の指導ができるよう、確かな授業研究推進力も身につけていきます。

学生は多彩な17のプログラム(ESD・SDGs教育、創造性・STEAM教育、心理データ支援教育、教育学、教育心理学、幼児教育学、特別支援教育学、地域教育、国語教育、算数教育、社会科教育、理科教育、英語教育、音楽教育、図画工作科教育、体育科教育、家庭科教育)のいずれかを選択し履修します。ESDなどの先端科学教育領域に加え、教育学、教育心理学のプログラムでは、教育の本質や目標、学習過程や児童の発達などを専門的に学びます。また、国語教育など教科のプログラムでは、各教科の内容をそれぞれ専門的に学びます。

02 中学校教育専攻 (11コース(地域教育を含む))

中学校教員を目指す学生が所属します。学生は、教科教育等を専門的に学ぶために、11コース(国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育教育、技術・工業教育、家政教育、英語教育、地域教育)のいずれかに所属します。

この専攻では、各教科に関する専門的知識・技能を修得し、文化・技術の継承と創造力の育成を目指します。関連して、生徒に必要な学力を身につけさせるための効果的な教材や指導方法を研究し、実践することを学びます。

03 特別支援教育専攻

特別支援教育の専門的知識と技能を備えた教員を養成します。

特別支援教育に関する教育学、心理・生理・病理学、実践学といった幅広い領域の専門知識を系統的に学ぶためのカリキュラムを用意しています。

特別支援学校に勤務するための特別支援学校教諭免許状は、基礎資格として小学校教諭免許状か、あるいは中学校教諭免許状が必要です。このため教育実習は、観察・参加型の実習を経て、3年次2・3学期に附属小または中学校で4週間、附属特別支援学校で3週間行うことになっています。

特別支援教育専攻では、全5領域(視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者及び病弱者に関する教育)の特別支援学校教諭免許状を取得できるカリキュラムが用意されています。

04 幼児教育専攻

幼児教育に関する専門知識・技術だけでなく、家庭教育、保育所保育や小学校低学年の教育に精通した教員を養成します。

幼児教育専攻では、幼児教育の意義・歴史・制度の学習を通じて幼児教育の基本理念を学び、講義と実習を通じて幼児の世界に対する理解を深めます。そして、幼児の成長や発達の支援に望ましい経験をしたり、指導方法を修得します。

本専攻では、幼稚園教諭一種免許状が取得できるほかに、保育士養成も行っていますので、保育士資格の取得が可能です。

養護教諭を目指すなら

養護教諭養成課程 (地域教育を含む)

幼稚園ならびに小・中・高等学校で、児童・生徒の心とからだの保健管理と健康教育を行う養護教諭を養成する課程です。

養護教諭は、保健室で救急処置をするだけでなく、健康診断・健康相談・保健指導など、成長期にある児童・生徒の心とからだの悩みなどに専門的に関わる大切な役割を担います。また、将来も健康な生活を送れるように指導する健康教育を担当します。

「養護専門科目」で、心とからだの仕組み、子どもの発達、生活・環境・社会と健康の関係、健康の成立と支援方法などの基礎を学びます。養護概説、健康相談活動、学校救急処置、保健科教育など養護活動の実践的な内容も学びます。また教育職員として必要な「教職専門科目」を学びます。

養護実習は、2年次に附属学校・園で、観察・参加実習を行います。3年次には附属学校・園や協力校で本格的に実習を行い、4年次には「教職実践インターンシップ」も行われます。大学で学んだ理論を養護実習で実践に結びつけるだけでなく、自ら課題を発見・解決し、学び成長する力を育成することを目的としています。

卒業時には、養護教諭一種免許状が取得できます。

なお本課程は、国立大学法人で中・四国地方唯一の養護教諭養成課程です。

*地域教育

岡山県北地域教育プログラム選抜によって選ばれた学生が所属します。学校教育教員養成課程の「小学校教育専攻」「中学校教育専攻」と養護教諭養成課程の中に設置されています。学校教育教員養成課程では、小・中学校教諭の両方の教員免許状の取得、あるいは中学校教諭の複数の教科での免許状取得を目指します。1年次から岡山県北地域での実習を開始し、2年次からは特定地域を「ホームタウン」に定めた実習や演習を卒業まで継続することで、地域や学校の課題を発見・解決するための資質・能力を高めます。

*技術・工業教育(岡山県工業科教員養成プログラム)

「岡山県工業科教員養成プログラム選抜」で選ばれた高等学校の専門教育(工業)を主とする学科で学んだ学生が在籍しています。岡山県工業科で教職に就くため母校の実習にも参加予定で、工業科に適した資質・能力を養成中です。

教員免許状の取得

教育学部で取得できる教員免許状の種類は多く、異なる教員免許状の取得を目指す学生が共に学び合うことができるのは、魅力の一つです。

取得可能な教員免許状等

学校教育教員養成課程
・小学校教諭一種免許状
・中学校教諭一種免許状 (国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)
・高等学校教諭一種免許状 (国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、保健体育、家庭、工業、英語)
・特別支援学校教諭一種免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者)
・幼稚園教諭一種免許状
養護教諭養成課程
・養護教諭一種免許状
・中学校教諭一種免許状(保健)
・高等学校教諭一種免許状(保健)
資格
・学校図書館司書教諭
・保育士(幼児教育専攻のみ)

入学後に決定される配属先や授業時間割上の制約により、希望する免許状のすべてを卒業時に取得できるとは限りません。

同じ教師だけど ちがう教師になるために。

次世代の 教員養成に向けた 新たなカリキュラム。

コンセプトは、「多様性に対応できる授業に強い教員を育てる」。学習者一人ひとりに寄り添い、学びの場を作ることができる教員を、4年間の体系的なカリキュラムの中で育てます。カリキュラムの中で、私たちが特に力を入れているのが、学習者の視点から学びをデザインできる力の養成です。岡山大学の新しいカリキュラムでの学びを是非体験してください。

教員紹介

教育学部はミニ総合大学。多分野にわたるいろいろな授業を個性豊かな教員が担当しています。



松浦 藍

〈美術教育〉

私たちは毎日「感じ方」を新しく変えています。その人だから感じとれたことは、その人にしか生み出せない価値に変わり、新しい視点となります。新しい視点で

日常を見ると、昨日まで気にも留めなかった道端の小石は、「地球の欠片」や、「遊び道具」とも言えるし、「好きな人と話すきっかけ」にもなります。図画工作や美術の授業では、価値なんてないと思ったものを、子どもたちの力で素敵な「何か」につくり変える創造的な営みがなされています。では、子どもたちが、この世界に生み出された全ての価値を慈しみ、より豊かな社会を創れるようになるには、どんな先生になったらいいのでしょうか。皆さんと一緒に考えていけることを楽しみにしています。

撮影：岡山大学写真部 酒井(教育学部)、木下(工学部)、奥(農学部)



馬場 訓子

〈幼児教育〉

「保育者」は、保育のプロとして子どもの人間形成に大きく関与しながら、子どもの成長を身近に感じることで、とても幸せでやりがいのあるお仕事です。

子どもファーストの保育の実現には、保育に関する知識や技術だけでなく、子どもの目線で子どものことが「わかる」感性が必要です。みなさんには、学生時代に多くの経験を通して、その感性を大切に育み、磨いてほしいと考えます。子どもへの関わりや保育環境の構成には、その全てに保育者の願いが込められた意図があります。保育に教科書はありません。だからこそおもしろい！一人一人の子どもがその子らしく成長できる、あなたがあなたらしい保育者になれる、そんな保育のつくり方を一緒に学んでいきましょう。



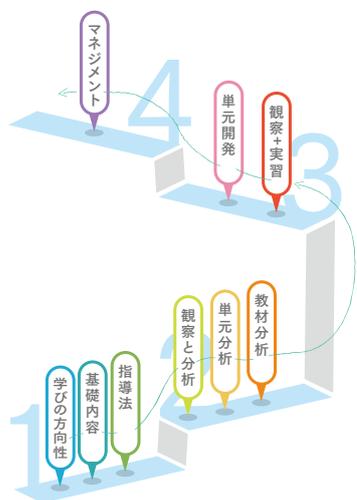
問い、実践、感動、 学びの基本をベースに。

何のために、何を学びたいかという学習者の思いは様々です。それを踏まえて、今の教育を見つめなおし、学びの新しい価値を生み出すことができる、そんな教員を育てたいと思っています。知識を子どもたちに伝えるだけの単なるメッセンジャーではなく、教育実践を通して子供たちとともに成長し続けることができる先生、それが私たちの理想です。

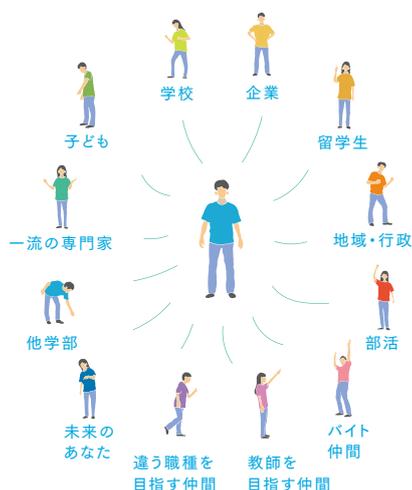
豊富な実践の機会で 仲間と経験値を蓄える。

先生の仕事で大切なことは、課題解決に向けたチームワークです。そのため、私たちの新しいカリキュラムでは、入学から卒業まで、仲間や先輩とともに様々な課題にチャレンジできる機会を豊富に用意しています。目標に向けて切磋琢磨する仲間によって構成されたチームの力は、皆さんを支え、勇気づけてくれます。

POINT
3



POINT
4



POINT
5



新時代に対応できる 実践力を育成。

岡山大学教育学部は、全国の教員養成大学に先駆けて4つの附属学校園における実習を核とした教員養成カリキュラムを体系化し、実践力の育成に取り組んできました。今、その伝統に甘んじることなく、カリキュラムを一新し、新時代のSociety5.0に対応でき、子どもの学びをつくる教育実践力をもった教員の養成に向けて一歩を踏み出しました。

総合大学としての誇り。 意思を磨く多様性。

10学部1プログラムを抱える総合大学であり、世界50か国に同窓会組織を持つ岡山大学には、様々な専門家や、様々な国や地域の方との出会いがあります。また、岡山市の中心部に位置し、一步大学の外に出れば、地域の様々な方と触れ合うことができます。そのような環境で自分の可能性を切り拓き、教育の力で未来を創造できる先生を目指しませんか。

「おもしろい」でつくる 先端教育領域。

持続可能な世界の構築に真正面から取り組む「ESD・SDGs教育」、ICTを活用して感性に基づいた創造性の育成に取り組む「創造性・STEAM教育」、そして子どもたちを正しく理解するための手法とその応用に取り組む「心理データ支援教育」という、三つのプログラムが新設されました。



詳しくはこちら

石橋 一昂

〈 数学教育 〉

「数学パワーが世界を変える」と言われるように、現代社会では数学の知識や能力が産業界をはじめとする各方面で重要とされています。また算数・

数学の学びは、生活の様々な場面で必要な創造力や批判的思考力などの育成にもつながります。このように、算数・数学の学びは全ての子供達にとって不可欠です。しかし、算数・数学は子供達にとって難しい教科です。そのため、算数・数学の先生には、子供達が算数・数学の知識や能力を身につけ、算数・数学の楽しさや面白さを実感し、自ら学び続けるための支援を行うことが求められています。私達と一緒に、目の前の子供達の人生を豊かにする算数・数学教育を探究しましょう!

撮影：岡山大学写真部 酒井(教育学部), 木下(工学部), 奥(農学部)



森 千晴

〈 家庭科教育 〉

家庭科の目標は、子どもたちに「よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する」ことです。皆さんにとって「よりよい生活」とはどのようなものなのでしょうか?美味しいものを食べられる生活でしょうか?好きな服を購入して着られる生活でしょうか?人によって「よりよい生活」の形は様々です。家庭科では、家族・家庭生活、衣食住生活、消費生活・環境の学習を通して、自己と他者の価値観や考え方の違いを知り、生活の枠組みを広げ、子どもたち一人一人が自分自身の「よりよい生活」を探究していきます。人間の生涯にわたって必要な資質・能力を子どもたちに育むために、「よりよい」

家庭科の授業と一緒に考えてみませんか?

撮影：岡山大学写真部 酒井(教育学部), 木下(工学部), 奥(農学部)



池田 匡史

〈 国語科教育 〉

「ことばの力」とは何か、それを高める役割をもつ国語科とは何かを300字で語るのには難しい。例えばことばは、人間の認識・思考に影響を与えとされます。単語レベルだけでなく、「物語る」という言語行為のレベルでもそうです。それだけに、ことばの力があれば、世の中の特定の考え方を強化するような発信ができたり、すでにある見方に疑義を呈したりと、よりよい社会をつくる人になれるの

でしょう。しかし、それをどう高めるのかは本当に難しい。…これ以外のことばの機能にも意識的になりながら、「ことばの力」とは何か、それをどう高めるのかという難しさに向き合う。それが国語教育です。難しさに向き合う楽しさ、共に味わってみませんか。

撮影：岡山大学写真部 上田(教育学部)

岡山大学教育学部 教育実践力向上カリキュラム

教員養成に向けた特色ある取り組み

教育学部では、令和5年度より新しいカリキュラムがスタートしました。それは、実習（及び事前・事後科目）を機軸として、授業で培った知識や思考力などが連動する、教育実践力向上カリキュラム（スパイラル・モデル）。子ども達と触れ合い、現場の先生方から多くを学ぶ「実習」と、専門的な知識等を学ぶ大学での「授業」が、螺旋状に、合理的に組み込まれ、有機的に結び付けられています。また、「先生になりたい」という同じ思いを持った仲間と学び合い、支え合いながら、細やかな指導のもと各専攻等で求められる専門性や資質・能力を高めます。

教育実践力向上カリキュラム（小学校）

	1学期	2学期	3学期	4学期
4年生	指導法開発II:授業研究マネジメント		教職実践演習	
	教育実習II:副免実習		教職実践インターンシップ	
3年生	指導法開発I: 教材・単元開発と学習評価		内容開発: 教材・単元開発	
	教育実習II:主免実習〔観察+教壇実習〕			
2年生	教育実習基礎研究:実習事前指導(学習指導計画、模擬授業)実習事後指導			
	内容構成論I:教材分析		内容構成論II:単元・カリキュラム分析	
	指導法I: 教科の各領域の教材論と指導法		指導法II: 先輩の教育実習の観察・運営	
	教育実習I:先生方の授業観察・分析の実際 教育実習基礎演習:授業の観察力・分析力の伸長			
1年生	内容基礎: 教科を構成する 基礎的内容		指導法基礎: 教科の目標、子どもの 実態を踏まえた指導法	
	教職実践入門セミナー 教師をめざす自らの 学びの方向性を確認		教育実習基礎論: 授業づくりの基礎 授業観察・分析法	

※開講時期など変更となることがあります。

教職支援体制

教員を志望する学生を、3側面から応援する体制をとっています。

1. 教職相談室

教職OBの専任教員（教師教育開発センター教職支援部門）が、教員採用試験情報の提供、個々の学生への個別相談、面接の指導、論作文の書き方等、きめ細かな指導を毎日行っています。

2. 教員採用試験受験に向けた講座・教職ガイダンス

毎年12月から翌年5月にかけて、「教採集中セミナー」、また各県等教育委員会による「教員採用試験説明会」を行っています。また、学部1～3年次生を対象に、それぞれに合わせた内容の「教職ガイダンス」を開催し、次年度以降の教員採用試験に向けた指導を行っています。

3. 教師力養成演習

教職を志望する学生の「教師力」「授業力」「生徒指導力」など、教育実践力を高めることを目的として、現場で活躍しておられる公立学校の先生等の講演会やその講演をおさめたDVDの視聴を通して指導を行っています。

このような教職支援体制で、教員を希望する学生の期待に応えています。



附属機関

岡山大学は、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校を併設し、先進的な教育活動・教育研究を充実させる体制を整えています。

また教育実習の企画・運営や教職支援・教職相談、学校支援ボランティア等の学校現場と連携した活動を支援する「教師教育開発センター」が全学センターとして設置されています。



附属小学校



附属中学校



附属幼稚園

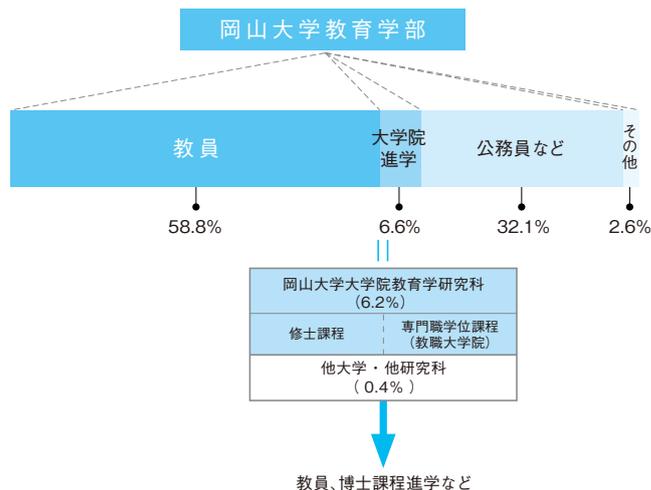


附属特別支援学校

実績ある教員就職と充実した大学院

岡山大学教育学部の卒業生で教員を希望する者のうち、ほとんどが教員に採用（期限付きを含む）されています。「教職相談室」をはじめとする学生支援体制の成果が表れています。

卒業後の進路では、教員への就職の他に、大学院進学や公務員などへ就職しています。岡山大学には、専門職学位課程（教職大学院）と修士課程からなる大学院教育学研究科があり、研究環境が充実しています。大学院で理論と実践を磨いた後に教員になる者も多数います。



●岡山大学教育学部卒業後の進路（令和6年3月卒業生の進路別比率）

注：教員には保育士を含む。

各数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%にならない場合があります。



岡山大学

学部長からのメッセージ

岡山大学教育学部長

高瀬 淳

私たちが生きる社会は、年齢、性別、人種、宗教、趣味嗜好などさまざまな属性の人が集まって形づくられています。この性質は、すべての人が平等に尊重され、それぞれの多様な価値が受け入れられることで、あらかじめ想定することが難しい将来の複雑な問題により適切に対応し、個人の成長や社会の発展が持続していくための強みとなります。

みなさんが高等学校や地域等で学び、具体的な活動に取り組んでいるSDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)も、地球上の「誰一人取り残さない」との考え方に基ついており、社会の多様性の高まりが、異なる価値を持った個人や集団の間につながりを生みだし、よりよい世界を実現する持続可能な社会変革の契機となることを期待しているといえます。

これからの学校では、未来の社会の創り手となる児童・生徒に、多様性の尊重に結びつく知識・技能や見方・考え方を身につけさせることが大切になります。SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」においても、持続可能な開発と持続可能な生活スタイル、人権、ジェンダー平等、平和と非暴力、グローバル・シチズンシップ、文化の多様性と持続可能な開発に向けた意義などを理解するため教育を進めていくことが掲げられています。そのような学校の教師は、できるだけ多くの「正解」を伝達するというよりも、児童・生徒一人一人が自分のよさや可能性を見つけるとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重する環境をつくりだし、児童・生徒自身が主体的・対話的に深く学んでいくための支援を重視することが期待されます。

もちろん、こうした学校教育は、簡単に実現できることではありません。教科書などに記述されている内容を理解しているからといって、児童・生徒が主体的・対話的に学習する授業を行えるわけではありません。また、これまでに自分が受けてきた授業等のや

り方をまねるだけでは、日々、成長していく児童・生徒の特性や実態に応じた学習を支援できません。優れた教師となるためには、専門職としての総合的な知識・技能や高い倫理性などを大学での体系的な養成教育によって獲得する必要があります。

岡山大学教育学部では、幼稚園、小学校、中学校・高等学校、特別支援学校の教諭や養護教諭の免許状を取得することができます。そのため、異なる専門的な知見をもった学生が、互いにより良い学校づくりに向けて協働的に学び合う機会が得られることも特色の一つとなっています。

同じ教師だけどちがう教師になろうという強い意欲をもったみなさんが、多くの仲間と関わり合いながら、未来の社会の創り手を育てる教育を探究していくことを応援します。



岡山大学HP「入試」にて
最新情報を必ずご確認ください。

<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/index.html>



アクセス

JR

岡山駅乗り換え、津山線「法界院」駅下車、徒歩10分

バス

岡山駅運動公園口(西口)から
岡電バス(岡山理科大学)行に乗車、「岡大西門」下車

岡山駅後楽園口(東口)から
岡電バス(御野校前・妙善寺)行又は(榭原病院前・妙善寺)行に乗車、
「岡大東門」下車(本路線は、市内を回るため時間がかかります。)



学 章

岡山大学 教育学部

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号

お問合せ窓口：岡山大学教育学部教務学生グループ

Tel.086-252-1111 (代表) ※内線：7598、7599、7605

編 集：岡山大学教育学部・企画広報委員会

<https://edu.okayama-u.ac.jp/>



QRコード

岡山大学教育学部

検索